

(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

平成27年10月8日

文部科学大臣殿

ビジネス・ブレイクスルー大学  
学長 大前 研一 印

下記の課程を職業実践力育成プログラムに申請します。

記

①学校名:	ビジネス・ブレイクスルー大学	②所在地:	東京都千代田区六番町1-7 Ohmae@workビル (大学事務局)千代田区二番町3番地麹町スクエア2階		
③課程名:	経営学部 ITソリューション学科	④正規課程/履修証明プログラム:	正規課程	⑤開設年月日:	2010年4月
⑥責任者:	学長 大前 研一 副学長 伊藤 泰史	⑦定員:	100名(年間入学定員)	⑧期間:	4年間
⑨申請する課程の目的・概要:	ITソリューション学科:グローバルビジネスコミュニケーション能力、論理的思考力、国際的な教養ならびに経営管理の基礎力と情報技術を備え、ITソリューション能力を基礎に国際的に活躍できるグローバルリーダーを育成することを目的とする。				
⑩4テーマへの該当の有無	・女性活躍 ・地域創生(地域活性化)	⑪履修資格:	学校教育法第90条に規定する大学に入学することができる者		
⑫対象とする職業の種類:	企業・各種団体における、経営を含む管理職業務、マネジメント業務				
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) (得られる能力) 経営学の基礎的分野、IT知識、マネジメント能力、論理思考力、プログラミング能力、コミュニケーション能力(英語によるコミュニケーションを含む) 英語によるビジネスコミュニケーション				
⑭教育課程:	ITソリューション学科においては、教育課程に配置した「経営」「経済」「組織」「マーケティング」「会計・財務」「アントレプレナーシップ」「キャリア・業界研究」、およびこれらで修得した知識とスキルを総括用する「統合」科目より、特に新規事業開発に必要な事業企画・推進能力を身に付ける。また、「IT横断科目」「IT戦略」「Web・ITサービス」「開発・実践スキル」「ソリューション」科目ではITソリューション企画・構築能力を、「論理的思考/問題解決」の科目では問題解決力を修得する。さらに、「英語力」「学習基礎力」「人文」「教養横断科目」「国際・社会」「科学」の科目では、ビジネス英語力・社会人基礎力・異文化理解力を学修する。				
⑮修了要件(修了授業時数等):	①4年以上在学すること②卒業に必要な単位である124単位を修得していること ③②に加え、卒業論文の最終審査に合格し、4単位を修得していること				
⑯修了時に付与される学位・資格等:	学士(経営学)				
⑰総授業時数:	276	⑱要件該当授業時数:	270	該当要件	⑲要件該当授業時数 / 総授業時数: 97.80%
⑳成績評価の方法:	授業科目の成績は100点満点をもって評価し、60点以上を合格とする。この場合、次の区分によりA+、A、B、C、Fの評語をもって表し、A+、A、B及びCを合格とし、Fを不合格とする。 A+...100点~90点 A...89点~80点 B...79点~70点 C...69点~60点 F...59点以下				
㉑自己点検・評価の方法:	学校教育法第109条を踏まえ、大学基準協会の点検・評価項目に沿って自己点検・評価を行う。				
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	修了者に対し、次の2つを実施し、その結果より効果検証を行う 1. 「卒業後の進路・担当業務」に関するアンケート 2. 「課程を修了することによって得られた能力」に関する自己評価アンケート				

<p>②③企業等の意見を取り入れる仕組み:</p>	<p>(教育課程の編成)          企業経営者で構成される複数の外部メンバーが参加する「第三者評価会議」を年2回実施し、同会議の中で本学の教育課程の編成等に関して意見・評価・提言を行う。          また、外部の企業経営者等の有識者を複数名招き、本学教職員も参加する「コンテンツ会議」を隔月で開催し、外部人材からは現在の実業界の課題やトレンド、人材育成の傾向などに関して本学に対して提言がなされている。また今後は年に2回程度、コンテンツ会議内で本学の教育課程そのものについて直接的に提言がなされる。          「第三者評価会議」並びに「コンテンツ会議」で討議・提案された内容は、教授会をはじめとした関係機関において教育課程の編成に関する事案が審議・決定されるプロセスにおいて、重要な参考情報として活用され、必要に応じて教育課程に反映される。          (自己点検・評価)          企業経営者で構成される複数の外部メンバーが参加する「第三者評価会議」を年2回実施し、同会議の中で本学の自己点検評価に関して意見・評価・提言を行う。          「第三者評価会議」で討議・提案された内容は、自己点検評価委員会、大学協議会、教授会をはじめとした関係機関において、自己点検評価に関する事案が審議・決定されるプロセスにおいて、重要な参考情報として活用され、必要に応じて自己点検評価活動・体制に反映される。</p>
<p>②④社会人の受講しやすい工夫:</p>	<p>24時間365日オープンなオンラインキャンパス。土日祝日もテクニカルサポートチームが常駐し、社会人の学習サポートを行う。スマートフォン等でも講義の受講が可能のため、通勤や移動中の隙間時間を使って忙しい社会人でも履修ができる。</p>
<p>②⑤ホームページ:</p>	<p>(URL) <a href="http://www.school.ohmae.ac.jp/">http://www.school.ohmae.ac.jp/</a> (経営学部マーケティングページ) <a href="http://bbt.ac/">http://bbt.ac/</a></p>

<p>事務担当者名:</p>	<p>秋元 陽子</p>	<p>所属部署:</p>	<p>大学事務局</p>
<p>連絡先:</p>	<p>(電話番号)03-5860-5531          (E-mail) <a href="mailto:academic@ohmae.ac.jp">academic@ohmae.ac.jp</a></p>		

\*パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。